

ネットワークを活用したシステムとアプリケーション開発に関するPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月20日 ～2019年07月29日	日本	漢陽大学	・電子情報システム学科 ・学部4年生、学部3年生、学部1年生、学部2年生	(芝浦工業大学) 学生8名、TA2名、教員2名 (漢陽大学) 学生8名、教員2名	山崎 託(電子情報システム学科)、三好 匠(電子情報システム学科)



図1 アイデアについて議論

ネットワークを活用したシステムの開発を目的としたグローバルPBLを実施した。本PBLには、芝浦工業大学の学生と韓国・漢陽大学の学生が参加し開発を行った。各グループは、ネットワークを活用するという点を考慮しながらアイデアを出し、必要物品の洗い出しや調達を行い、様々なセンサやスイッチ、機械学習や深層学習などを用いながら開発を行った。最後に、本学オープンキャンパスの一環として最終発表会を行い、成果物のデモとプレゼンテーションを行った。各グループは国際的な開発活動を通じて、コミュニケーション能力を向上させるとともに、様々な技術を組み合わせ応用する実践的な技術を向上させることができた。



図2 最終発表会の様子1



図3 PBLで使用したデバイス類



図4 最終発表会の様子2